

# 災害復旧・子育て支援の充実に向けて

## 令和2年度の主な事業

「住民が主役のまち」「安心で優しいまち」「誇りと愛着のもてるまち」

### 学校給食費の減免



幼稚園・小学校・中学校の給食費を子育て支援の一環として2割減免し、保護者負担を軽減

### スクールバス運行事業



遠距離通学児童生徒の通学支援のためスクールバスを購入

### 防犯灯施設整備管理事業



町内の防犯灯を蛍光灯から全てLEDに切り替える事業

### 予防接種事業



ロタウイルスワクチン接種を4月以降に生まれた乳児から町独自で実施

- 台風19号による災害復旧事業
- ふくしま森林再生事業
- 道路等側溝堆積物撤去処理支援事業
- ふるさと納税推進事業



提出議案を説明する湯座町長

定例会3月会議は、3月4日から13日までの10日間の会議日程で開催されました。  
令和2年度当初予算や令和元年度予算の補正、条例の改正、専決処分報告、追加議案の人事案件など31件について審議し、すべて原案のとおり可決・同意されました。  
一般質問(9ページより)では、9名の議員が登壇し、町政をたどりました。

## 令和2年度各会計の予算額

(△は減額表示/1万円未満切捨て)

会計名	2年度予算	元年度予算	比較			
			増減費	伸び率		
一般会計	69億3,000万円	69億1,200万円	1,800万円	100.2%		
特別会計	国民健康保険	12億9,969万円	13億3,238万円	△3,269万円	△2.4%	
	後期高齢者医療	1億4,101万円	1億3,918万円	183万円	101.3%	
	介護保険	14億8,935万円	14億4,603万円	4,332万円	102.9%	
	簡易水道事業	3,757万円	4,557万円	△800万円	△17.5%	
	公共下水道事業	3億6,837万円	3億21万円	6,816万円	122.7%	
	農業集落排水事業	8,870万円	7,600万円	1,270万円	△116.7%	
	霊園整備事業	64万円	69万円	△5万円	△7.2%	
上水道事業会計	収益的収支	収入	3億7,966万円	3億9,743万円	△1,777万円	△4.4%
		支出	3億4,316万円	3億4,573万円	△257万円	△0.7%
	資本的収支	収入	1億9,499万円	2億350万円	△851万円	△4.1%
		支出	3億3,922万円	3億4,308万円	△386万円	△1.1%

予 算 会  
特 別 委 員 会  
質 疑 討 論

一般会計

**質問** 町税の法人税割の大幅な減額理由は。

**答弁** 税務課長

法人税割の率が令和元年10月1日以降、9.7%から6%へ3.7%引き下げられたことによるもの。

**質問** ゴルフ場利用税交付金の予算計上に問題ないか。

**答弁** 総務課長

実績に基づいて、県の指針で計算している。

**質問** 個人町民税の減額の予算計上は、景気状況、経済状況を考慮されているか。

**答弁** 税務課長

過去3年間の実績で見込んでいる。現在の景気については、今のところ動向が見えない。

**質問** 後期高齢者医療インセンティブ交付金の内容は。

**答弁** 住民課長

健診等や保健指導事業等を実施したものについて点数化をして交付される交付金。

**質問** 新型コロナウイルスが長期化した場合、入湯税は、今後の歳出は。

**答弁** 税務課長

入湯税は減額になると思われる。

**答弁** 総務課長

歳出はどのようになるか分からないが適切な対応が必要かと思う。

**質問** 農林水産業費県補助金の前年対比の大幅減額の内容は。

**答弁** 産業振興課長

主に森林再生事業が減ったため。

**質問** ふるさと納税推進事業費の返礼品の経費内容は。

**答弁** 総務課長

送料や委託料等が3割、返礼品が3割、計6割が経費。

**質問** 地域振興基金積立金額は、主にどのように使われているか。

**答弁** 総務課長

基金の残高は約7,400万円の

見込。ふるさと納税事業に充てている。

**質問** 白河広域圏に委託をしている滞納金回収の費用対効果は。

**答弁** 税務課長

令和元年度、負担金が379万円、徴収金は1,276万7,000円。

**質問** 定住自立圏構想の事業費の比率は。

**答弁** 地域創生課長

八溝山周辺地域定住自立圏への負担金は84万4,000円、しらかわ地域定住自立圏には12万1,000円。

**質問** 地域交通対策費の内訳は、地方創生事業費の内容は。

**答弁** 産業振興課長

町内路線バス2路線、東館線、山本線。タクシー利用助成。

**答弁** 地域創生課長

福大との連携協定に基づくアドバイザーへの報酬や、子育て世代の定住促進に向けた、新築住宅の補助金など。

**質問** 東白川衛生組合の大幅な負担金の減額理由は。

**答弁** 住民課長

し尿処理施設等整備費の減によるもの。

**質問** 原子力災害対応雇用支援事業、物産振興会の見通しは。

**答弁** 産業振興課長

事業は令和2年まで、延びる可能性もある。物産振興会の在り方は、十分な議論をしながら検討したい。



予算特別委員会の様子

**質問** 中山間地域等直接支払事業費と多面的機能支払事業費の制限は、原材料等の支給はされるのか。

**答弁** 産業振興課長

多面的機能は水路の改修、農

道等の舗装。中山間事業も同様。現在支給は行っていない。補助金の中で対応。

**質問** 農林水産物PR支援事業の経過、ふくしま再生事業費の発注時期は。

**答弁** 産業振興課長

魅力体験ツアーを2回程度実施。ふくしま森林再生事業は7月に発注予定。

**質問** ふくしま森林再生事業継続と町の対応は。

**答弁** 産業振興課長

事業の継続はまだ分からない。国、県に要望活動が続けていく。



質問をする議員

**質問** 木造耐震事業の予算は。

**答弁** 整備課長

木造耐震診断と改修の1棟分を計上。

**質問** 町営住宅の中で、修繕不可能な住宅はないか。今後の対応は。

**答弁** 整備課長

修繕できるものは修繕している。用途廃止する団地の住宅は取壊しを予定。

**質問** 南町団地の修繕不可能の住宅は。

**答弁** 整備課長

南町西団地は用途廃止で、入居者が退去後、取壊しをしていく。

**質問** 南町西団地の土地の所有は、草刈等の環境整備と管理は。

**答弁** 整備課長

南町西団地は借地、年に数回草刈り等を職員で行っている。適切な管理をこころい。



**質問** 南町西団地借地のその後は。

**答弁** 整備課長

用途廃止後は、地権者に返還する。

**質問** 南町の入居されていないと思われる、家賃や住宅管理は。

**答弁** 整備課長

南町西団地、現在16戸管理、12戸が入居。空き家以外は、家賃をいただいている。

**質問** 道路等側溝堆積物撤去処理支援事業の実施地区は。

**答弁** 整備課長

高野近津地区と棚倉山岡地区を同時並行に事業を行っていく。

**質問** 自主防災組織の発足費用は。

**答弁** 住民課長

防災倉庫等は、購入費の3分の2を補助。10万円打ち切りで助成。

**質問** 幼稚園広域利用の施設給付事業費の制度内容は。

**答弁** 子ども教育課長

保護者が給付認定申請し、他町村の幼稚園に入園ができる制度。

**質問** 就学援助費の対象人数と周知は。



予算特別委員会で賛成討論をする藤田(光)議員



予算特別委員会で反対討論をする鈴木議員

**質問** 学校施設維持管理費にトイシの修繕の予算はあるか。

**答弁** 子ども教育課長  
この予算には入っていない。

### 特別会計

#### ■ 棚倉町国民健康保険特別会計予算

**質問** 標準保険料率の県の指示は。

**答弁** 住民課長  
事業費納付金と併せて標準保険率の通知があった。

**質問** 国民健康保険税の前年度対比は。

**答弁** 住民課長  
医療給付分の現年分は、前年比で507万円、2.8%の減。後期の支援金分104万円、1.6%の減、介護分は125万円、6.2%の増。

**質問** 棚倉町の基金は、どのくらいあるか。

**答弁** 住民課長  
国民健康保険事業費支払準備基金は、2月末で9,667万円。

**質問** 国民健康保険税の見直しは、現時点で昨年度と比較して高い安いというお話をできる段階ではない。

**答弁** 住民課長  
マイナンバーカードに保険証機能の搭載を令和3年3月から実施する予定で準備を進めている。

**質問** 個人ナンバーカードの保険証情報は。

**答弁** 住民課長  
マイナンバーカードに保険証機能の搭載を令和3年3月から実施する予定で準備を進めている。

#### ■ 介護保険特別会計予算

**質問** 第1号被保険者保険料が少なくなった、低所得者保険料軽減繰入金が増えている理由は。

**答弁** 健康福祉課長  
低所得者の保険料が1段階から3段階までの方が軽減の適用が拡大された。

**質問** 居宅介護住宅改修費と介護予防住宅改修費の違いは。

**答弁** 健康福祉課長  
居宅介護住宅改修費は要介護1から5までの方、介護予防住宅改修費は要支援1から2までの方が対象。

**質問** 一般介護予防事業費の内容は。

**答弁** 健康福祉課長  
介護予防の講演会、介護予防出前講座、音楽療法教室の費用。

**質問** 基金の現在高は。

**答弁** 健康福祉課長  
基金残高は、7,406万円。

#### ■ 棚倉町簡易水道事業特別会計予算

**質問** 使用料が大きく減っている原因は。

**答弁** 上下水道課長  
建物の新築関係で節水施設の影響、企業の縮小等が影響している。

#### ■ 棚倉町公共下水道事業特別会計予算

**質問** 下水道の延長に対して受益者負担金が少ないのではないか。

**答弁** 上下水道課長  
受益者負担金は、1平米当たり500円、徴収猶予を受けたもので今年度賦課される額を見込んでいる。

**質問** 下水道の稼働率は。下水道事業費の増額の理由は。

**答弁** 上下水道課長  
稼働率は、45%。電気設備、電子設備等の更新費用。

#### ■ 棚倉町上下水道事業会計予算

**質問** 資本的収入の工事分担保と工事負担金とは。

**答弁** 上下水道課長  
工事分担保金は、加入分担保。工事負担金は、布設替え工事負担金と移設工事負担金。



予算特別委員会の様子

## 当初予算採決の状況

一般会計予算の原案をめぐって討論が行われました。

反対1名  
賛成11名

反対 鈴木政夫 議員

令和2年度一般会計予算について反対の立場で討論をいたします。

ルネサンス棚倉に委託料6千万円、無利子の貸付金4千万円、合計1億円を支出することに、私は同意できない。働く場所の確保について、町は積極的な対応が必要であるが、積極的な効果的な事業が展開されておらず、工場誘致費の予算計上は不十分である。また、学校給食費の無償化について、町が2割分を助成することは非常に評価しているが、まだ不十分である。タフシー利用券の導入は、適切であったと思うが改善すべき点があるが、改善されていない。棚高跡の敷地利用は、県の土地であるので、町は具体的な使用策を持っていないが、町が独自の計画を持って、県に働きかけをしていくことが重要である。このいくつかの点を指摘し、令和2年度棚倉町一般会計予算に反対の態度を表明し討論といたします。

賛成 和知裕喜 議員

令和2年度一般会計予算に対して賛成の立場で討論をいたします。

この予算案は、租税全般で大きく減少となり、厳しい状況の中で、地方交付税や、国の補助金、各種基金を活用し、積極的な財源の確保に努めております。

歳出面では、通学支援のためのスクールバスの購入や給食費の減免、すこやか赤ちゃん応援事業、ITC環境整備など、子育て支援を図っており、防災計画の改定、防犯灯のLED化、消防施設整備、森林再生、側溝堆積物除去など、町民の安心・安全の強化や社会資本整備総合交付金による町道の拡幅等の事業や農・商・工の各種産業振興事業、健康増進事業、それぞれの世代を対象とした生涯学習事業を図る予算で、各分野における予算を確保した内容になっています。

厳しい財政状況の中、昨年の台風災害の復旧事業を行っており、第6次振興計画に掲げる施策実現を



本会議での採決の様子

目指している、この予算案について、私は適切なものと考え賛成の意を表し討論といたします。

# 町政を問う

定例会3月会議では9人の議員が登壇し質疑を行いました。  
1人の制限時間は60分、一問一答方式で行われます。  
行政全般について町民の身近な課題や町政発展に係る質問を活発に議論しています。

## 1 佐川 裕一 議員 …… 10ページ

1. 町長3選出馬への所信は
2. コロナウイルス対策は

## 2 大竹 盛栄 議員 …… 11ページ

1. 災害時の避難所は
2. 特別支援学級は

## 3 割栢 義夫 議員 …… 12ページ

1. 小中学校児童生徒の生活は
2. 児童生徒の通学路安全対策は
3. 棚倉高校跡地利用は

## 4 藤田 光子 議員 …… 13ページ

1. 住民救済の働き方改革の実情は
2. たなぐら霊園の現状と今後の予定は
3. 人工透析患者と介護者への対応は
4. 棚倉高等学校跡地の今後の見通しは

## 5 菊池 忠二 議員 …… 14ページ

1. 昨年の台風19号被害の対応は
2. 棚倉町議会議員選挙の総括は
3. スマートシティの推進は
4. 空家対策は
5. カラー舗装道路と棚小北側の道路は

## 6 和知 裕喜 議員 …… 15ページ

1. 日本型直接支払事業は
2. 地域おこし協力隊は

## 7 古市 泰久 議員 …… 16ページ

1. 山岡・高野小学校の統合構想は
2. 歴史資料館とレストランの建設は
3. 台風19号の復旧工事の進捗状況は

## 8 藤田 智之 議員 …… 17ページ

1. コロナウイルス感染症への対応は
2. 成人式の見直しは
3. 町民の負担は重いのか
4. 職場でのハラスメント防止対策は

## 9 鈴木 政夫 議員 …… 18ページ

1. 台風19号被害復旧状況は
2. タクシー利用券の改善は
3. 学校給食費の負担軽減は
4. 企業誘致活動における問題点は



## 令和元年度補正予算 ■ 3月補正予算の状況 (△は減額表示/1万円未満切捨て)

会計名		補正額	補正後の予算額	
一般会計		7,919万円	88億681万円	
特別会計	国民健康保険	△816万円	13億2,024万円	
	後期高齢者医療	902万円	1億4,820万円	
	介護保険	△4,438万円	14億4,050万円	
	簡易水道事業	△392万円	4,530万円	
	公共下水道事業	△732万円	3億125万円	
	農業集落排水事業	△79万円	7,535万円	
	霊園整備事業	38万円	107万円	
事業会計	上水道	収益的収支	18万円	3億8,887万円
		資本的収支	△112万円	3億4,422万円
	下水道	収益的収支	△1,610万円	1億9,592万円
		資本的収支	△876万円	3億3,386万円

**その他の条例制定・一部改正(抜粋)**

- ◆行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例
- ◆法律の改正に伴い、法律名の変更が生じたための改正
- ◆特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ◆地方公務員法及び地方自治法の一部改正により、会計年度任用職員制度の創設等に伴い、特別職で非常勤職員に関する制度を整理するなどの改正
- ◆物品調達基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例
- ◆基金を設置する目的が薄れてきたため廃止
- ◆棚倉町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ◆幼児教育・保育の無償化に伴い、

- ◆子ども・子育て支援法、運営に関する基準の一部改正より食事の提供に要する費用の取扱いの変更や用語の整理等の改正
- ◆棚倉町営住宅条例の一部を改正する条例
- ◆民法の一部改正に伴い、債権関係について規定を整備する改正
- ◆棚倉町上水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
- ◆地方自治法の一部改正に伴う改正
- ◆棚倉町上水道給水条例の一部を改正する条例
- ◆民法の短期消滅時効の改正に伴う改正
- ◆戸中・大岩平辺地に係る公共的施設の総合整備計画
- ◆スクールバスの購入を令和4年度から令和2年度に、購入台数を2台から3台に増やすなど辺地計画の変更

**人事案件**

全会一致で同意しました。

任期は令和2年3月29日から4年間です。

**棚倉町監査委員の選任**



西牧 武美さん  
(中居野)



石井 重實さん  
(寺山)

人権擁護委員候補者の推薦

### 問 町長3選出馬への所信を問う 答 立候補の意思を固める

問 町長3選出馬への所信を問う。

町長 私は、平成24年9月に初当選以来、一貫して「共に生きる、共に育てる、まちづくり」を基本に、「生きがいのある町づくり」に全力を傾注してまいりました。

私は、第六次棚倉町振興計画及び第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた目標実現のため、引き続き本町まちづくりを全力で取り組むことが、私の責務であると深く認識し、再度、町長選に立候補の意思を固め、町民の皆様方の期待に応えてまいりたいことをここに表明いたします。



希望する町民にマスク配布が行われた

問 新型コロナウイルス対策は  
答 備蓄マスク5万枚を要請あれば配布

問 流行した場合の対応は。  
町長 本町では、国や県から情報を収集し、町民に対してホームページやフェイスブック、電光掲示板、チラシの全戸配布による広報活動を通じて感染症に関する正しい知識の普及や予防に関する情報を提供している。  
引き続き、国や県と連携を図りながら、適切な医療が受けられるよう、必要な措置を講ずる対応をしてまいりたい。

問 子供や妊産婦、高齢者への配慮は。  
町長 重症化しやすい高齢者や糖尿病などの基礎疾患がある方、妊婦については、発熱の期間を4日以上から2日に短縮するなど早目に相談するよう配慮されている。  
問 マスクの備蓄はあるか。  
住民課長 備蓄マスクは5万枚。コロナ対策に当たり、業務を停止あるいは休止できない分野については、要請があれば配付。



医師確保対策費用を拠出している塙厚生病院



佐川 裕一

### 問 災害時の避難所は 答 安全性を考慮し選定開設する

問 昨年の台風19号で、棚倉町も甚大な影響を受けたが、町当局の迅速適切な判断で、人的被害が無く避難指示も、適切だったと思うが避難指示の経緯、避難所、一時避難所の環境設備、寺山字豊岡地区の避難指示は適切だったか。  
町長 台風が接近する前、10月12日午前7時に自主避難者を対象とした避難所を保健福祉センターに開設し、避難勧告に合わせて、総合体育館、社川小体育館、近津小体育館に開設し、備蓄倉庫より食料等を運んで対応をした。豊岡地区の避難場所は適切な判断だったと考えている。

住民課長 寺山集会所は一時避難所であり、自主的避難所である。町が避難所を開設する時、一時避難所は対象にならない。



寺山集会所

問 特別支援学級の現状は  
答 適切な就学支援をしている

問 特別支援学級は、適切な人員配置学級数であるか。支援学級に入っていないが、支援が必要と思われる児童生徒について、学校側との情報共有は出来ているか。  
教育長 県の定める学級編成基準により配置している。通常学級も含めた支援を要する児童生徒への介助や、学習支援上での支援を行う特別支援教育支援員を配置し、円滑な学校運営に努めている。

問 学校現場で特別支援に対する専門的な知識を研修する場は設けられているのか。  
子ども教育課長 小学校、幼稚園教諭が対象だが、今年度3回実施し特別支援の認識を高めている。



大竹 盛栄

問 豊岡地区の指示がなぜ最も近くて安全な寺山集会所で無かったのか。  
住民課長 改善の余地が有ると思われるので必要に応じて改善していききたい。



問 現場では支援員が足りないとの声があるが把握しているか。  
子ども教育課長 学校から直接要望はないが、PTAの要望に支援員の増員という項目があった。  
問 支援員を増やすことは可能か。  
子ども教育課長 財政局と協



特別支援学級

### 問 児童生徒の学校生活は 答 アンケートを実施、実態を把握

**問** イジメや嫌がらせ状況の把握と対応は。

**教育長** 各学校で「学校生活に関するアンケート」を実施し、実態把握に努めている。その後の対応として、学校で児童・生徒や保護者との個別面談により、実態調査し、組織的に迅速な対応により早期解決を図っている。

**問** 教職員の児童・生徒及び教師間の虐待、パワハラは。

**教育長** 特別な調査は実施していないが、各学校に設置されている服務倫理委員会を定期的に開催し、実態を把握するとともに、校長など管理職による教職員との面談を実施しながら、未然の防止に努めている。

**問** 違法薬物の指導及び教育、職員の理解は。

**教育長** 小学校6年生と中学校3年生において、薬物乱用防止教室を保健体育の授業で実施している。

る。学級活動の時間においても薬物乱用に関する学習を行っている。教職員が、授業の実施に当たっては、綿密な教材研究を行なった上で、その内容を理解しながら指導している。

**問** 児童・生徒、保護者の緊急時の連絡方法は。

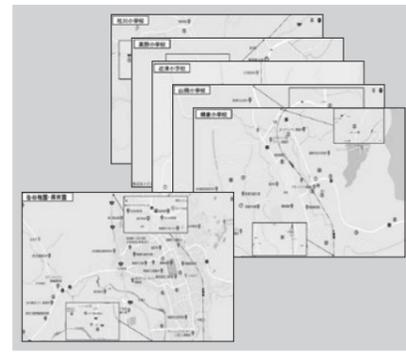
**教育長** 緊急連絡メールアドレスやや方部連絡網が構築されている学校では、その連絡網を活用し、個別の内容については保護者の携帯電話へ連絡する対応をしている。

**問** 通学路の安全対策について問う

**答** 通学路安全対策指針協議会を設置している

**問** 通学路の危険箇所の図面及び活用状況は。

**教育長** 棚倉町通学路安全対策推進会議を設置し取組む方針で有る。



通学路危険箇所地図

**問** 施設整備の進捗。地域からの要望は。

**教育長** 関係機関へ要請しているが、今後推進会議や、合同点検

り、各小学校における危険箇所を掲げた対策一覧表及び箇所図を作成し、町のホームページに公表し、注意を促しながら、安全確保に努めている。検証として毎年、通学路安全対策推進会議を開催し、実施状況や今後の予定、新たに必要となる箇所との協議、合同安全点検を実施し、児童生徒の安全確保ができるよう対応している。



危険通学路

**問** 旧棚倉高校解体後の跡地活用は

**答** 具体的な活用方法、計画は持っていない

**問** 旧棚倉の校舎解体終了後、利活用は。

**町長** 町としては、現在、具体的な活用方法、計画は持っていない。県所有資産であることから、県営施設としての利活用を継続して要望していく。



町長 義夫

### 問 子どもセンター職員の働き方改革は 答 嘱託職員から会計年度任用職員に

**問** これまでの体制では1人で勤務している状況があり大変不安を感じていた。いざという時の安全面の配慮が必要なのは。

**教育長** 新年度から、会計年度任用職員として勤務日数を増やすなど条件の改善をし、1日2名体制で対応していく。

**問** 所長として責任ある立場は常勤であるべきでは。

**子ども教育課長** 子どもセンターの閉鎖時間に合わせ9時から5時までとし毎日働けるような形で会計年度任用職員として委嘱させてもらう。

**問** 町としての会計年度任用職員としての内容は。

**子ども教育課長** 職員と同じような期末手当、旅費、通勤手当、その他必要に応じて時間外勤務手当の支給を考える。

**問** 住民救済の働き方支援として幼稚園も保育園同様の預かり時間を調整すべきでは。

**教育長** アンケート調査で朝夕の時間延長に関するニーズもあり、保護者の意向も確認しながら子育て支援として検討していきたいと考えている。

**問** 棚倉霊園の現状と今後の予定は

**答** 墓地の空き待ち登録者数34人

**問** 今後の予定はどの様に考えているのか。

**町長** 返還された墓地が出るたび空き待ちの方に順次案内をしている。現在のところ新たな整備は検討していない。

**問** 返還する場合の対応は。

**町長** 霊園条例及び同施行規則の永代使用料及び管理料を、登録

から1年未満は半額を返還、1年経過した場合は、料金の返還は行わない。



**問** 旧棚倉高校跡地の現状と見通しは

**答** 6月県議会可決により解体予定

**問** 跡地利用についての計画は。

**町長** 県営施設として計画を要望しているが現在のところ計画は無いと聞いている。

**問** 利用について以前から糖尿病や現在36名もいる人工透析患者に対する治療クリニックや研究所の設立を提案しているのだが。

**町長** 県では現在のところ計画はないとの事だが県の所有地でもあるので、県営施設として計画頂けるよう要望している。

**地域創生課長** 相談については、前向きに乗っていく考え方でいる。



藤田 光子

### 問 今年の台風19号農地被害の復旧は 答 国の補助災害査定が1月24日に終了

問 復旧状況は。  
町長 災害査定が終了し復旧工事を順次発注している。

問 頭首工の復旧は。  
町長 県営災害復旧事業は応急仮工事後本工事は8月に、町の大規模被災の本工事は3月中旬に発注し、その他は業務委託、機械借り上げ等により依頼、間に合わない所は東北農政局より用水ポンプを借受け用水を確保する。

問 作付けが間に合わなかった場合の農家への補償は。  
産業振興課長 町単独では考えていないが、県に所得補償を要望して行く。

問 この被害がきっかけで農地の縮小や営農意欲などが減退しないか。  
整備課長 営農再開の意欲は強いと捉えている。

問 用水ポンプの運用計画は。

産業振興課長 今後十分検討して地区に周知していく。

問 県、町道の復旧は。  
町長 県道は早期に、町道は災害査定済みの2路線を1月14日に工事発注。

問 昨年の町議会議員選挙の投票率は

答 前回より8%下がった

問 62.98%の低い投票率の感想は。  
町長 その時の政治状況や様々な要因がある。

問 今年迎える町長選に向けた投票所の数や場所の見直しは。  
総務課長 選挙管理委員会が平成14年の見直し後、適正に執行されていると了解している。

問 スマートシティの推進は

答 県の動向を見ながら調査研究をすすめる

問 空洞化に於ける道路整備や上下水道のメンテナンスの非効率は今後、重荷では。  
地域創生課長 コンパクトシティなどの考え方はあるが、今後の状況を見ながら考えていく。

問 町として家庭用蓄電池の先進的な取り組みは。  
地域創生課長 費用対効果などあらゆる観点で調査研究していく。

問 バイオマスエネルギーの取り組み、又完成度が高ければルネサンス棚倉への導入などの考えは。  
産業振興課長 現在4町村でエコシステム構築事業で検証し実施、設置に向けて十分な検討をして行く。



菊池 忠二

問 空家対策計画と協議会の設置は

答 空家対策計画はホームページで閲覧可能、協議会設置の準備は出来ている

問 城跡周辺のカラー舗装の修繕と、棚小北側の未舗装道路の整備は

答 城跡周辺は歴史的風致維持向上計画に計上、棚小北側は状況把握し維持管理していく



棚小北側の未舗装道路

### 問 日本型直接支払事業の推進は 答 十分に組織を強化して取組む

問 多面的機能支払交付金には農地維持支払交付金と資源向上支払交付金があると思うが事業内容は。  
産業振興課長 農地維持支払交付金は、農地の法面の草刈り、水路の泥上げ、農道路面等の維持活動。資源向上支払交付金は、水路、農道、ため池等の軽微な補修、施設の長寿命化、農道の舗装、水路等の改修。

問 中山間地域等直接支払制度第5期対策(令和2年から令和6年)は、第4期対策から改正を含めた事業内容と加盟団体数は。  
町長 令和2年度から4つの改正点があり、  
1 認定棚田地域振興活動計画に基づき、棚田地域の振興を図る取組を行う場合に加算の新設  
2 集落協定広域化加算額の拡充  
3 集落機能強化加算の新設  
4 生産性向上加算の新設  
組織数は7組織。



日本型直接支払事業の作業の様子

問 各事業に参加を希望する団体及び事業の周知は。  
町長 中山間地域等直接支払制度に令和2年度より1つの集落が既存の組織に加入予定。周知は、農事組合長会議等でチラシの配布

問 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金の事業内容と組織等は。  
産業振興課長 耕作地の再生は現在取り組んでいないが過去には大豆、ニンジン、コンニャク、ソバ等の取組を行った。

問 地域おこし協力隊は

答 一定の成果があった

問 平成26年度委嘱の2名の隊員の評価は。  
町長 隊員の活動内容が地域の魅力や資源の発掘、都市との交流事業、町内外への情報発信であり、3年間町民と一緒に交流を深め活動してきた。活動終了後は2人と町内に定住し継続的に活動していることから一定の成果はあった。

問 平成28年度以降は隊員の委嘱ができなかった要因は。  
町長 募集は随時行っており、現在まで延べ10名の申込みがあり、面接の結果や内定後の辞退など、採用までには至っていない。

問 令和2年度は隊員を委嘱できぬのか。

町長 任用に向け、町や県移住交流推進機構などのホームページにて募集を行っている。

問 令和元年よりおためし地域おこし協力隊が創設された。地域おこし協力隊として活動する前に、一定の期間2泊3日以上で地域協力活動を体験し、受入れ地域とのマッチングを図り、経費は特別交付税措置で1団体当たり100万円、棚倉町には格好の施設ルネサンス棚倉がある。ルネサンス棚倉等を利用し、おためし地域協力隊の制度を使い隊員の募集に活用しては。  
地域創生課長 承知しているが、さらなる調査研究をと考えている。

問 募集にはミッション型、それに含めてフリー型と幅を広げて、柔軟性を持って間口を広げては。  
地域創生課長 募集内容は各課に照会して決定。



和知 裕喜



町民へのマスクの配布

**問** マスク不足の緊急時なので有効活用を検討すべきでは。  
**町長** みんなで分け合えば足りるし奪い合えば足りなくなると考え、必要な所には適切に配慮したい。

**問** 5万枚のマスクが備蓄されているとのことだがどの様な経緯か。コロナ肺炎対策に有効活用を図るべきではないか。  
**住民課長** 震災時支援物資として頂いて残ったものを備蓄した。預り保育等に2千枚配布した。教育分野、介護、行政分野で要請があれば配布したい。

**問** 備蓄したマスクの有効活用は  
**答** 必要な所に適切に配慮したい

**問** 休校での学習支援などの取り組みは。  
**子ども教育課長** 国でも学習支援の動きはあるが今後の臨時校長会等で対応を協議したい。

**問** 国の休業補償への対応は。  
**産業振興課長** 国、県や商工会と連携して周知を図りたい。

**問** 成人式の見直しは  
**答** 今後総合的に判断したい

**問** 令和4年度より民法改正で成人年齢が18歳となるが、成人式の開催の見直しは。又、現在の開催状況は。  
**教育長** 今年から成人者の実行委員会を中心に、町及び町教育委員会の共催で開催し、参加率は約8割。成人式の対象年齢、開催時期及び名称を含め今後、対象者及び実行委員経験者等の意見を参考

に、近隣市町村の動向を踏まえ総合的に判断したい。  
**問** 町外の中学校に通うと懇親会に参加できない状況は。  
**生涯学習課長** 懇親会に町は関係していないが、成人式の実行委員につなぐなどの配慮はしたい。

**問** ハラスメント防止策は十分か  
**答** 特化した対策はこれから

**問** 今年6月、「労働施策総合推進法」いわゆる「パワハラ防止法」が施行されるが対応は十分か。  
**町長** ハラスメントに特化した研修や就業規則の整備は実施していないがメンタルヘルス研修会やストレスチェックの段階において、ハラスメントも含めた研修やメンタル等の相談窓口を周知している。法改正により事業主、労働者の責務が明確化されたので今

統合のほうに進んでいくものと思われる。  
**問** 令和三年度より山岡・高野小学校と同時統合とし、その後に全町的な方向性を考えるという見解を持っている。後顧に憂いを残してはならない。  
**教育長** 次年度より統合の是非も含め、町内小学校全体の学校教育の方向性を検討する。



統合が予定される山岡小学校

**問** 歴史資料館と郷土料理施設の建設は  
**答** 現在のところ、建設計画はない

**問** 八槻鶴田和久堰の損壊は修復なのか、全面取替えなのか。  
**整備課長** 取替えて災害査定が通った。当面は修理で対応し、四月二十日頃までに完了予定。

**問** 作付け不能の場合、補償は担保されるのか。  
**町長** 作付け不能地の補償はない。所得補償等の支援を国県へ要望している。

**問** 台風19号での、作付け不能箇所数は  
**答** 把握できない状況

**問** 歴史資料館の建設は多くの町民が望んでいると思われるが。  
**教育長** 現状では建設する具体的な計画はないが、必要性については調査、研究をしていく。



古市 泰久



藤田 智之



他自治体の防止マニュアル

**問** 税や公共料金などは他と比べて高いのか  
**答** 税は標準税率なので差異はなく、公共料金や子育て負担は中程度

● 定例会

会 議	開 会	閉 会	会 日	議 程	傍聴者数	一般質問	
						登壇人数	質問件数
第1回定例会	3月7日	3月18日	12		31	7	22
定例会6月会議	6月12日	6月14日	3		11	6	21
定例会9月会議	9月10日	9月13日	4		76	7	23
定例会12月会議	12月20日	12月24日	5		12	5	17
合 計			24		130	25	83

※6月定例会から通年議会の試行により、会議名称が変わりました。

● 提出議案数

種 類	件 数	
	町長提出	議員提出
条 例	34	2
予 算	31	2
決 算	9	0
専 決 処 分	10	6
そ の 他 事 件	10	
合 計	94	10



議会全員協議会の様子

● 委員会等開催状況

区 分	委 員 会	開催日数
常任委員会	総務常任委員会	2
	厚生文教常任委員会	3
	建設経済常任委員会	1
	広報編集常任委員会	16
	議会運営委員会	17
	ルネサンス棚倉調査特別委員会	9
	予算・決算特別委員会	3
	議会全員協議会	8

令和元年度(平成31年度)に参加した主な研修会等

5/28~29 全国町村議会議長・副議長研修会	10/31~11/1 全国監査委員研修会
6/3 福島県町村議会議長会定期総会	11/13 第63回町村議会議長全国大会
8/7 東白川地方町村監査協議会総会	11/24 エドヒガンの植樹祭
9/15 県南地方総合防災訓練	12/18 「公益財団法人日本ソフトテニス連盟」による強化等拠点施設整備に係る基本協定締結式
10/8 東白川地方自転車活用推進協議会設立総会	1/27 町村議会議員研修会
10/10 県南地方市町村議会議長会・副議長セミナー	2/14 町村議会新人議員研修会
10/10 東白川地方町村議会議長会議員研修	

・議会の活動状況を報告します。(平成31年1月1日〜令和元年12月31日)

問 学校給食費の負担軽減の詳細は  
答 保護者負担の2割を町助成

問 学校給食費の負担軽減については、子育て支援の一環としてこれまで強く実施を求めてきた。そうしたなか今議会の冒頭町長の所信表明の中で、新年度から学校給食費の2割を町として助成するとの表明があった。

この問題についてはすでに近隣町村では何らかの形で取り組んでおり、埴町では新年度から、全額無料化の予算が可決されている。埴町で出来て何故棚倉町で出来ないのか。これらの点を含め、詳細な内容の説明を求めたい。

教育長 学校給食の単価について、食材の高騰により、一律5%の引き上げになるが、保護者の負担を軽減すべきと判断し、引き上げ後の1食当たりの単価の2割を町で助成することを決めた。

問 人口減少はこの自治体でも大きな課題となっているが、棚倉町は子育てしやすい町だ、住むなら棚倉町だという雰囲気、空気をどう作っていくかが大事だと思う。そういう意味では、棚倉町でも無料化を検討すべきと思うが答弁を求めたい。

子ども教育課長 子育て支援策については、スクールバス運行、ICT機器、幼稚園バス等も検討すると、優先順位をつけながら、有効的な子ども・子育て支援として、財源の使用を考えている。

問 台風19号被害復旧状況は

答 今年の作付けを目指して取り組む

問 台風19号による農地や農業施設などの被害についての復旧への取り組み状況は。特に頭首工や水路の取り組み状況は。

政府の緊急対策として、全国7水系において遊水池や堤防の整備、また川底にたまった土砂の掘削など、ハード対策に取り組むとの方針が公表されたが、久慈川水

系の対策はどの様になっているのか答弁を求めたい。

町長 復旧工事については、現在排水路及び畦畔等を優先して工事を行っており、今年の水稲作付など一刻も早い営農活動の再開を目指し進めている。

水路については、頭首工様に応急仮工事及び小災害復旧工事を優先している状況である。

久慈川水系の対策については、県南建設事務所によれば堤防補強工事を2件、堆積土砂撤去工事を2件実施しているとの回答があり、引き続き町と調整しながら堤防補強や堆砂除去工事に取り組んでいくとの回答があった。



急ピッチで進む災害復旧工事

問 タクシー利用券の改善は

答 利用率が低いので現状を維持

問 タクシー利用券について、町の中心部に住む方と、遠く離れたところに住む方と、一律にして交付しているが、改善すべきである。また年間の交付枚数を増やしてほしいとの声が多い。以上2点について答弁を求めたい。

町長 町内各地で利用目的によつて遠い近いが発生するが、利用目的の制限や場所を特定していないので、現在は見直す考えはない。また利用割合からみて、交付枚数が少ないとは思っていない。

問 企業誘致は真剣に取り組むべきでは

答 工業団地のリスクを考えると、オーダーメイド方式でいきたい



鈴木 政夫

# 言わせて一言

## 人を・心を・時をつなぐたなぐらまちに

住む皆様にご意見、ご感想を伺いました。



昨年の台風19号は、社川地区も甚大な自然災害に遭い衝撃を受けました。忘れもしません。10月12日、長女の結婚式がいわきで行なわれ、台風の真っ只中、全ての催しを終了する事が出来ました。しかし、大雨の影響で道路が通行止めになり帰る事は出来ませんでした。ホテルで一夜を過ごし朝の二コー

スで、大雨による甚大な被害に遭っている事を知り、自宅がある逆川地区の被害が心配でした。自宅から堤地区方面数十メートルに社川が流れていました。今回も決壊した事を知り、またかと愕然としました。幸い自宅は無事でしたが、堤地区被害に驚きました。町議会だよりを拝見すると、活発な意見や早期の復興について記載されていました。今後自然災害に対する議論を御願いたします。

今年7月に開催予定でした「東京オリンピック」が「新型コロナウィルス」で延期になりました。このウィルスで町全体に被害を生じる事は、言うまでもありません。棚倉町からウィルスが発症しない事を願っています。

社川地区にお住まいの  
覚万 達次さん



流にお住まいの  
加藤 俊男さん



昨年度、流区の副区長を担当し、また上流常会長や自主防災会長を務めさせて頂きました。一年を振り返ると昨年10月に発生した台風19号のことが一番脳裏に浮かびます。幸にして流区は土木や農業関係の被害はあったものの人的被害や住宅被害がなかったことで胸をなで下しているところです。これからも町民一人ひとりが安心して暮らせる地域づくりに取り込むことが急務であり、人々の関わり方、そして災害時の対応等について行政ばかりに任せることなく、町民の役割の大切さや地区のリーダーとしての情報発信の重要性や責任の重さを感じたところです。そしてまた、我が上流地区でも昨春秋『防災の日』に併せて大勢の参加者の元、自主防災組織発足後、初めての防災訓練を実施しました。これからも地区の皆さんとともに、いつ発生するか分からない「災害」を忘れることなく、一区民として防災意識の高揚を図って行きたいと思っております。

### あなたも議会を傍聴しませんか

傍聴の手続きは、役場庁舎3階の傍聴席入口で住所と名前を書くだけで、どなたでも傍聴できます。



#### 定例会6月会議 日程のお知らせ (予定)

正式日程は、6月上旬開催予定の議会運営委員会で協議されます。

6月10日(水) 開会・本会議

6月11日(木) 一般質問

6月12日(金) 一般質問・閉会



### 編集後記

昨年の台風19号の被害復興が完了しないのに、今度は新型コロナウィルスの騒動であります。

例年のない暖かい春を迎えました。落ち着かないまま令和2年度が始まりました。広報編集委員会も改選となりまして、新しい委員で編集した議会だよりをお届けしますので、皆様のご意見をお寄せください。

今年が復興して、実りある令和2年になることを念じて編集後記とします。

広報編集常任委員会  
委員 佐藤 喜一



#### 広報編集常任委員会

- 委員長 近藤 正光
- 副委員長 割栢 義夫
- 委員 佐藤 喜一
- 委員 藤田 智之
- 委員 鈴木 政夫